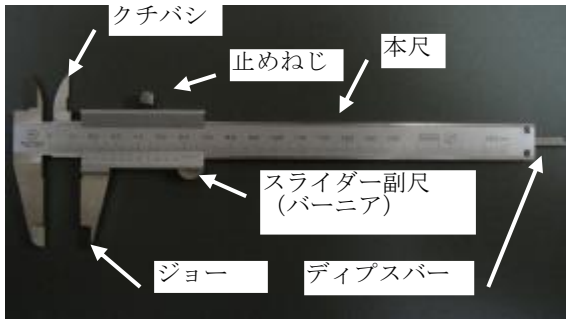


その使い方大丈夫？ 知っているようで知らない  
「もう一度見直してみよう」

## 「ノギスの使い方。」

ノギスはジョーやクチバシ、デプスバーといった測定部があり、それぞれ外径測定、内径測定、深さ測定等できます。また測定した値はノギス本体の本尺と、スライダに記された副尺によって0.05[mm]の精度で読み取ることができます。



### ノギスの各部位の名前

全てを憶える必要はありませんが、バーニアという名前は憶えましょう。



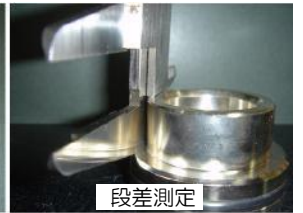
外径測定



内径測定



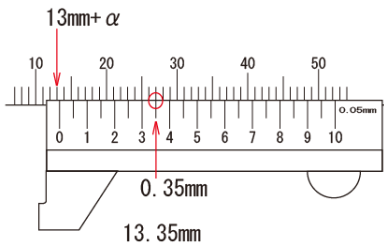
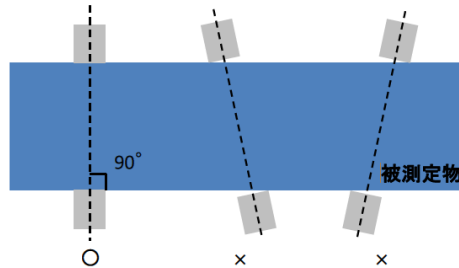
深さ測定



段差測定

### ノギスの当て方

ノギスで測定を行う場合には、右図のように、被測定物に対してジョーやクチバシを直角にあてることが大切です。



### 測定値の読み方

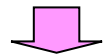
ノギスの測定値の読み方は本体の本尺とスライダの副尺を組み合わせて読み取る必要があります。最初は難しいかもしれませんが、一度習得してしまえば簡単です。

- 上図のように測定した場合、まず、
- ①副尺の0の左側にある最も近い本尺の目盛を読み取ります。(図の場合13mm)
  - ②副尺と本尺の目盛が重なる部分を探して、その値に1/10を掛けます(図の場合副尺が3.5なので0.35)
  - ③①と②で読み取った値を足し算します。(図の場合、13+0.35=13.35mm) という風に測定値を読み取ります。

### Q&A

ノギスで測定するときに、力加減で寸法が大きくなったり、小さくなったりするのですが、どれくらいの力で測定すれば良いですか？

また、丸穴の直径を測定するときのコツを教えてください。



寸法のわかってる品物(ブロックゲージなど)を何度も測定して、いつも同じ測定が出来るように、練習し、体で覚えてください。

内径を測定するときは、最大のポイントを探るように、何度か当てなおし確認します。この時、固定子は動かさず、稼動子を穴に沿って動かすのが良いでしょう。